



本校は、令和4年度と5年度、文部科学省から「人権教育に関する研究校」としての指定を受けています。今年度は、学校課題を「豊かな人間性や自尊感情を育成する人権教育～互いの違いやよさを認め合い、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成～」をテーマに設定し、児童、教職員、そして保護者の皆様とともに、人権に関する意識を高め、よりよい児童の育成、より過ごしやすい学校・家庭・地域づくりにつなげていくために様々な取り組みをしています。

その一環として人権教育に関する本校の活動を伝えるための人権だよりを発行します。第3号では、12月中に行われた人権集会、2月3日に行われた校内研究授業、2月16日に行われた児童集会の様子をお知らせします。

人権集会（ビデオによるミニ・フィルムフォーラム）



「色の好みから、ジェンダーについて考える」というテーマでビデオを視聴した後、学級で話し合いをしました。男の子の色や女の子の色という決まりはあるのかな？という問いかけにみんな色々と考えます。絵本の中には様々な国の人々や、車椅子の人なども登場してきました。身近な色をテーマにしたことで、より具体的に人権について考えられる機会になりました。

〈校内研究授業 2月3日〉

3年1組 学級活動「インターネット上でも、よりよい関係を築こう」



インターネット上では、スタンプだけでは伝えたいことがうまく伝わらないことを知りました。そして、自分の思いをきちんと伝えるためには、また、もしも誤解が生じてしまったときにはどうしたらよいか、個人やグループで考え、これからどのようにしていきたいか、めあてを決めることができました。友達の話を書くときは、しっかり相手を見たり、相づちを打ったりして、安心して発表できる雰囲気を感じることができました。

5年1組 算数「四角形や三角形の面積」



5年生の算数で、「ひし形の面積」の学習をしました。今まで学習した面積を求める公式や形を変える方法を使って、ひし形の面積の求め方を考え、友達と協力しながら説明しました。自分が考えた方法と同じ考えの友達とグループを組み、分かりやすく説明する方法を考え、話し手は、相手の反応を見ながら「やさしい話し方」を、聞き手は、話し手の方を見ながら「あたたかい聞き方」を心がけて話したり聞いたりしました。

児童集会



清掃班ごとに各教室で様々なゲームにチャレンジする「ましこ小祭り」が開催されました。企画運営委員会の児童や6年生が中心となり、準備から当日の運営まで行ってくれました。コロナウイルス感染症により、延期になってしまいましたが、子どもたちは最後まで笑顔で協力し合い大成功でした。子どもたちの楽しむ姿がたくさん見られ、とても嬉しくなり、素敵な時間を過ごすことができました。